2026
秋
第2号 復興号

くまもと 一人一花だより

令和８年熊本地震からの
復興への希望を込めて、
花と緑がつなぐ
未来への歩みを届けます

育てる花が、
まちをつなぐ。

topics

02 まちを彩る人
～ 花がつなぐ復興の輪
一人一花 in 能登半島 ～

05 一人一花運動 News Letter

06 花と緑のある暮らし
～花のチカラで心に彩りを
「元気」と「癒し」のフラワーアレンジ～



一人一花運動の
記念すべき第１号
「でか山見附ガーデン」



まちを彩る人

花がつなぐ復興の輪

～ 一人一花 in 能登半島 ～

Profile

岡田（おかだ） 翔太郎（しょうたろう）さん

岡田翔太郎建築デザイン事務所商事合同会社
（石川県七尾市一本杉町３）

岡田 翔太郎氏は、石川県七尾市出身の一級建築士。九州大学で建築・環境デザインを学び、能登半島地震後は「一人一花 in 能登半島」実行委員会代表として、花を通じた地域復興に取り組んでいる。

令和８年７月、熊本は再び地震に見舞われました。

今回、本冊子では熊本市と同じく〝一人一花運動〟を進めておられる、能登半島の取組を紹介します。その名も「一人一花in能登半島」プロジェクトです。

「一人一花 in 能登半島」プロジェクトとは、令和６年能登半島地震で被災家屋の解体後にできる〝空き地〟を地域住民と全国の支援者が協力して〝憩いの場〟へと再生していく取組です。「一人一花 in 能登半島実行委員会」が中心となり取組を進めておられ、岡田翔太郎建築デザイン事務所の社長である岡田さんが代表を務めています。

今回は代表の岡田さんに、このプロジェクトを始めた思いについて熊本市役所職員がお話を伺いました。

一人一花in能登半島の始まり

職員　能登で「一人一花」の活動を始められたきっかけを教えてください。

岡田さん　令和６年能登半島地震の発生後、まずは危険な建物の解体が急務でした。特に子どもたちの通学路には倒壊のおそれがある建物が残っていて、一日も早い対応が求められていました。

職員　復旧が進む中で、新たな課題も見えてきたそうですね。

岡田さん　はい。建物が解体されることで安全性は高まりましたが、その一方で空き地が増え、まちにどこか寂しい雰囲気が広がり始めました。「この空き地をどう活かすか」が課題になっていたのです。

職員　そこで福岡市の「一人一花運動」と出会われたのですね。

岡田さん　そうです。大学時代の恩師である九州大学の鵜飼先生に相談したところ、「福岡の一人一花運動を参考にしてみてはどうか」と助言をいただきました。その後、実際に福岡を訪れ、地域の花壇活動を見学しました。

職員　活動を見てどのように感じられましたか。

岡田さん　建物を建てるには時間もお金もかかりますが、花であれば地域の皆さんと一緒に比較的短期間に現地を彩ることができます。花を植えることでまちに彩りが生まれ、人が集まるきっかけにもなると感じました。

地域とのつながり

職員　活動を始める際、不安はありませんでしたか。

岡田さん　一番の不安は管理でした。花壇は作って終わりではなく、水やりや草取りなど継続的な世話が必要です。「誰が管理するのか」という課題がありました。

職員　その課題はどのように解決されたのでしょうか。

岡田さん　七尾市の空き地の所有者から「自分の土地でやっていいよ」という声をいただいたことが大きなきっかけでした。その場所で最初の花壇づくりが実現し、完成後には地域の皆さんから「やってよかった」という声もいただきました。

職員　ガーデンづくりには多くの専門家が関わっているそうですね。

岡田さん　はい。ランドスケープの専門家はガーデンの設計を、ガーデナーさんは植物の選定を、庭師さんは土壌づくりや庭木の剪定を、それぞれ担当してくださっています。

それぞれの専門技術を持つ方々が協力することで、本格的なガーデンづくりができています。

職員　地域だけでは難しい部分を、多くの専門家が支えているのですね。

岡田さん　その通りです。地域の皆さんの想いと専門家の技術が合わさることで、魅力的な空間が生まれています。

民間主体の活動

職員　この活動はどのような体制で運営されているのでしょうか。

岡田さん　主に私を含め、建築事務所のスタッフが事務局として活動しています。

また、能登半島の各市長や町長にも実行委員会に参加して頂いたり、大学研究者やガーデナー、庭師の皆さんのご協力を得て、活動を行っています。

資金面では能登の企業からの発信で、全国の企業や団体からの協賛をいただいています。

俳優の常盤貴子さんも、能登が舞台であるＮＨＫ連続テレビ小説「まれ」での出演の縁もあり、花壇づくりのイベント時にはご参加いただいております。常盤さんのご参加で、皆さんに笑顔の輪が広がります。





福岡市と能登地域との交流イベントを開催し、
第２号ガーデンとして「出会いの一本杉ガーデン」
が完成しました



ガーデン制作時の様子

活動の成果

職員　活動の広がりについて教えてください。

岡田さん　現在は能登各地24か所にガーデンが広がっています。初年度は私たちから地域へ声掛けすることが中心でしたが、2年目になると「自分たちの地域でもやりたい」という相談が寄せられるようになりました。

職員　地域の方々に活動が浸透してきているのですね。

岡田さん　少しずつですが、確かな手応えを感じています。

職員　花壇は完成後もさまざまな効果を生み出しているそうですね。

岡田さん　そうですね。例えば大学生の提案でベンチを設置したガーデンでは、人が集まって自然と会話が生まれるようになりました。また、東洋大学の学生が開発したアプリでは、ガーデンを巡りながらオリジナル御朱印を集めたり、花壇の様子を投稿したりすることができます。

職員　地域同士の交流にもつながっているのですね。

岡田さん　広い能登半島の中で、お互いの活動を知り、刺激を受け合うきっかけになっています。

職員　今後の課題はありますか。

岡田さん　やはり管理体制です。高齢化が進む地域も多いため、花壇が負担にならないよう配慮する必要があります。そのため私たちは「やりたい地域と一緒に取り組む」という考え方を大切にしています。

職員　活動を押し付けるのではなく、地域の意向を尊重しているのですね。

岡田さん　はい。地域に寄り添いながら進めることが、長く続く活動につながると思っています。

職員　最後に、岡田さんが考える「一人一花」の意義を教えてください。

岡田さん　私たちの目的は花壇を増やすことではありません。花をきっかけに人が集まり、地域内外の交流が生まれ、まちの未来を語り合う場が生まれることが大切だと考えています。

職員　花は復興のための〝きっかけ〟なのですね。

岡田さん　その通りです。将来、空き地に新しい建物が建ち、人々が戻ってきたとき、花壇は役目を終えるかもしれません。しかし、それは復興が進んだ証でもあります。花は人と人、地域と地域を結び、未来への希望を育てるための大切なツールだと思っています。

一人一花運動 News Letter
一人一花運動の情報をお届け！

活動報告

市役所本庁のウェルカム花壇 みんなでお手入れ大作戦！

市役所前大花壇において 9 月中旬、「市役所のウェルカム花壇 みんなでお手入れ大作戦！」を実施しました。当日は、緑のマイスター、市民参加者、市役所職員など総勢 34 名が参加し、除草作業を行いました。皆さまのご協力により美しい花壇が復活しました。





“一人一花 × グローバルネイチャーポジティブサミット 2026” 花装飾でお出迎え



7 月 14 日、15 日に熊本城ホールにて開催された本会議では、ホールエントランスに、放置竹林対策の竹材を活用、県産花材等を使用した花装飾を設置し、国内外からのお客様をお出迎え。自治体の展示ブースでは、間伐材を使用したベンチやテーブルで来場者の皆さんが一息つく憩いの空間を創出し、一人一花のノベルティも配布しました。

“緑のマイスター養成講座” 第 5 期生の講座開催中です



新規マイスターを認定する養成講座を5月から全６回の行程で開催中です。9月には、養成講座の第４回を開催し、グループごとに、次回実施する「現地活動」に向けて、活動内容や必要資材、当日の進め方などについて検討を行いました。11月の講座修了後に新たなマイスターが誕生予定です。緑のマイスターの活動が益々盛り上がっていきそうです。

※マイスターの新規養成講座は２年に１回開催。次の募集は令和10年春予定。

イベント告知

今年も開催

くまもと花博 2026

11/20㈭ ～ 11/29㈰

清水地域の皆様が企画した多彩な催しも満載！

街なかエリア
中心市街地一帯

花のトンネル in 辛島公園



花博応援隊のみなさまとともに制作！ 花で彩った豪華なトンネルが街なかに登場します。

エンディングイベント 11/29㈰ in 辛島公園
“熊本の彼氏” 杉本琢弥さんが登場！
そのほかステージイベントも計画中✨

まち山エリア
立田山・八景水谷公園一帯

アートトレイル in 八景水谷公園



竹あかりで有名な CHIKAKEN プロデュースによる幻想的な空間が八景水谷公園に出現！

ほかにも楽しいイベント盛りだくさん！
詳しくはホームページをチェック
くまもと花博

花や緑、自然との共生がテーマ

2027年国際園芸博覧会 (GREEN×EXPO 2027)

©Expo 2027

【開催期間】令和９年（2027年）3月19日～9月26日
【開催場所】神奈川県横浜市（旧上瀬谷通信施設）

熊本市は日本ゾーンに花・緑出展を予定しています

入場チケットの販売や来場日時のご予約についてはこちらから

記念樹配布を開始します！



結婚や子どもの誕生など、人生の節目を迎えられた熊本市にお住まいの方へ、樹木の苗木をプレゼントいたします。

【申込期間】令和8年（2026年）11月1日～12月15日
【配布期間】令和9年（2027年）2月6日～8日

詳細はこちらから　申込はこちらから

花と緑のある暮らし

花のチカラで心に彩りを
「元気」と「癒し」のフラワーアレンジ

お花３本と
身近な器を使って
空間に元気と癒しを
創ろう

まずは気軽にお花屋さんをのぞいてみてください。お気に入りの花を見つけて、身近な器に飾ることから楽しんでいただければと思います。最近は若い男性のお客様も増えており、花を楽しむ方の輪が広がっていることをうれしく感じています。



講師 Profile

石岡（いしおか） 万亀子（まきこ）さん

株式会社花織部（熊本市東区湖東 3-5-5）

現代の名工
（公社）日本フラワーデザイナー協会
名誉本部講師

元気のアレンジ

オレンジ＋黄＋濃ピンク



可愛い色のガーベラはお部屋をポップで明るく元気な印象に。

- ガーベラ



- コップ
- ストロー（細）
- タピオカストロー（太）
- 紙ナプキン



point 1 タピオカストロー３本に花を入れるため、細いストローとタピオカストローをバランスよく配置して、コップに入れる



point 2 茎の長さを調整してカット。ガーベラをタピオカストローに一本ずつ挿す



赤＋オレンジ＋黄



色も形も個性的な花々はエネルギーを感じさせます。

- バラ
- カラー
- ピンクッション



- ガラス瓶
- コースター



point 元気を表現するため、花の向きは正面に



カラーセラピーの考え方

情熱 やる気 力強さ	明るさ 親しみやすさ 温かさ	幸福感 希望	安らぎ 自然 穏やかさ	涼やかさ 落ち着き 静けさ	愛情 優しさ 幸福感	神秘的 上品 落ち着き

癒しのアレンジ

紙袋に入れてアレンジ!（中に小瓶を入れて）



暖色系のグラデーション



深みのある色相にすることで赤とピンクが優しく調和し、温かみのある空間に。

- スプレーバラ
- セダム
- ドラセナ



- 茶碗
- 輪ゴム



point 1 花を小枝に切り分ける



point 2 輪ゴムを使って花束風にまとめると、器に収まりやすく、ボリュームも演出できる



緑＋紫



自然感のある緑の実のついた枝と紫の花が落ち着いた和の雰囲気をつくります。

- トルコギキョウ
- ノバラ
- ホトトギス



- 和風のカップ
- 竹串
- 木の板



point 1 花が固定できるように花止めとして竹串を使う



point 2 正面から見て、茎の主軸が外側に広がるようにすると素敵な仕上がりに



白＋緑



白い花と鮮やかな緑が爽やかで安らぐ雰囲気に。

- バラ
- ガーベラ
- テマリソウ



- マグカップ
- コイル

point 1 花止めとしてコイルを輪っかが何個もできるように曲げて整える



point 2 コイルをカップに入れる。輪っかができた位置に花の茎を挿して、花を立たせる



一人一花運動 協力企業紹介

一人一花運動では、サポーター企業やスポンサー花壇、一人一花割引協力店など、多くの企業の皆さまにご協力いただいています。現在も、一人一花運動の趣旨に賛同いただける企業を募集しています。

Community Partners



HANAmarumo

熊本市東区長嶺西
2-16-6-103

長嶺の住宅地にある、ひっそり静かな雰囲気の小さな花屋です。一人一人が花を育てて町を育てるという取組に賛同し、協力させていただいております。植物は育てる楽しさ、収穫する楽しさ、飾る楽しさ季節によっても楽しさが違います。みなさんの「楽しい」のお役に立てれば嬉しいです。
お近くにお越しの際はどうぞお立ち寄りください。

Community Partners



リーブスハウス

熊本市中央区新大江 2-11-6
コアマンション熊高前 101

当店では切花をメインに観葉植物などを取り扱ってます。
『一花』を飾り、愛でる喜び
想いを込めた『一花』を贈る喜び
そのようなお客様の気持ちを大切にしたいと思います。一人一花運動を通じて、日常生活でお花がもっと身近な存在になるよう協力できれば幸いです。

協力企業は順次ご紹介していく予定です

一人一花サポーター企業

アデル・カーズ株式会社
医療法人 杉村会 杉村病院
株式会社セルモ
JA熊本果実連
碧松園 HEKISHOUEN
第一生命保険株式会社
株式会社ボルテックス
株式会社クリーン発酵九州

一人一花割引協力企業

GooDay
nursery'S
NAFCO
株式会社 花織部
花と植木の店 リーズナブル
フラワーギャラリー KUMAMOTO
リーブスハウス
株式会社 fase（フェーズ）
flower & green Lagurus
Flower Shop berry
Green & Red
HANA marumo
Noel
87 flower 福原

スポンサー花壇 協賛企業

肥後銀行
熊本東急会
urban green
伊勢造園建設株式会社
株式会社 いづの造園
株式会社 皆楽園
熊本日日新聞
LIVING
TKU テレビくまもと
PLACE GROUP
株式会社 緑研
木上梅香園株式会社
九州産交グループ
第一生命 Daiichi Life Group
NISSAY
ARISTO 建設を超えろ。
Tsuruya
株式会社 アクト・フォーナース
有限会社 田上樹楽園
株式会社 イシヌキ
ふくおかフィナンシャルグループ 熊本銀行
K・O・T・O・B・U・K・I
株式会社セルモ
肥後の陣屋
株式会社水前寺樹木医事務所

熊本復興支援 KUMAMOTO REBUILDING SUPPORT ともに、未来へ。ともに乗り越え、未来へつなぐ。
熊本地震で被害を受けた紙を再利用しています。

くまもと一人一花だより
第2号（復興号）2026年11月 発行

熊本市 都市建設局 森の都推進部
花とみどり協働課
〒860-8601 熊本市中央区手取本町1番1号 熊本市役所7F
096-328-2352
hanatomidori@city.kumamoto.lg.jp